



INNOVATOR'S
GARAGE

～次代を創る研究者による最先端の研究紹介～

アカデミックナイト 第23回

主催：一般社団法人中部圏イノベーション推進機構

中部圏の大学で生まれている数多くの技術シーズと企業とのマッチングを目的として、第23回アカデミックナイトを開催します。アカデミックナイトでは、各回テーマごとに次代を創る研究者が登壇し、最先端の研究を紹介するとともに参加者と議論することで、産学連携を深めます。

【自動運転への道～実証の取組みと通信規格の標準化～】

第1部 講演1 (18時00分～19時00分)

「名古屋大学でのゆっくり自動運転の開発と実用化」

名古屋大学では「ゆっくり自動運転」というコンセプトに基づき、移動に困難さを抱える住民の多い地域を中心に、自宅から出発する自動運転サービスの実用化を行ってきました。本講演では自動運転サービスの実現に向けて実施した技術の実証と課題について説明します。

名古屋大学 未来社会創造機構
特任准教授 赤木 康宏 氏



第2部 講演2 (19時00分～20時00分)

「自動運転時代の高速車載光ネットワーク ～国際標準化競争の最前線～」

名古屋工業大学・未来通信研究センターは2021年1月に開設し、自動車を中心とした広い分野の次世代高速通信ハードウェア（部品・システム）の高信頼化研究とその国際標準化、さらには社会へのルールメイキング人材の輩出に取り組んでいます。

名古屋工業大学 未来通信研究センター
センター長・特任教授 各務 学 氏



第3部 交流会

日時/ 2022年9月1日(木) 18時00分～21時00分 (受付開始 17時40分)

会場/ ナゴヤ イノベーターズ ガレージ アネックス (ナディアパーク3F) 【定員30名】

参加費/ 無料 ※本プログラムは中部経済連合会およびナゴヤイノベーターズガレージ会員向けプログラムです

お問い合わせ先



INNOVATOR'S
GARAGE

一般社団法人中部圏イノベーション推進機構

<https://garage-nagoya.or.jp>

〒460-0008

名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク4F ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

E-mail : info@garage-nagoya.or.jp (お問い合わせはメールにてお願い致します)

詳細・申込みは
こちらから！



登壇者略歴・研究概要

※各登壇者の研究内容等詳細は、ナゴヤイノベーションズガレッジウェブサイトに掲載しております。表面のQRコードからアクセスしてください。

・講演 1

赤木 康宏 氏 名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授

略歴：2006 東京農工大学 工学部 博士（工学）

2018～名古屋大学 未来社会創造機構 名古屋大COIにて自動運転システムの開発

研究・技術シーズ概要：

・自動運転車の研究・開発・実証

名古屋大学COIの取り組みを通じて自動運転ソフトウェア「ADENU」を開発

MaaSと連携した走行管理や、遠隔運転、信号等のインフラと協調した走行機能

国内20回以上の実証実験事業を実施

- 春日井市高蔵寺
- 豊田市稲武地区
- 静岡県下田市・掛川市等
- 兵庫県神戸市

・搬送ロボット、パーソナルモビリティの研究・開発

自動運転車の走行技術を応用し、搬送ロボットや電動車いす等の小型移動体の自動走行システムの研究開発を実施

・自動運転ソフトウェア等の開発・事業化支援

自動運転ソフトウェア「ADENU」を活用した事業化のためのベンチャー企業を設立
株式会社エクセイド <https://xxade.co.jp/>



【PRポイント】

- ・計算書事業「混在空間でレベル4を展開するためのインフラ協調や車車間・歩車間の連携などの取組」
- ・Level4自動運転車の研究開発事業に参画（知の拠点あいち重点研究プロジェクト、しずおか自動運転showcaseプロジェクト、四條畷市自動運転実証実験）

・講演 2

各務 学 氏 名古屋工業大学 未来通信研究センター センター長・特任教授

略歴：1992～2019 株式会社豊田中央研究所勤務

2019～名古屋工業大学 産学官金連携機構、2021年1月より未来通信研究センター長

未来通信研究センターの研究・技術シーズ概要：

有線通信

- ・光通信システムのモデル化研究とシミュレーション構築
- ・光ファイバ中の伝搬状態評価および理論体系構築
- ・車載光イーサネット（100M～50Gb/s）評価系構築
- ・車載電気イーサネット（10M～25Gb/s）評価系構築
- ・デジタル信号処理技術

通信EMC

- ・車載ネットワーク用EMC対策デバイスのEMC測定法の研究及び標準化活動
- ・EMC対策デバイスに対するESDダメージ試験の測定法の研究及び標準化活動
- ・TLPを用いたESD飽和試験の測定法及び標準化活動
- ・Powered ESDによる車載イーサネットICの通信品質に対する影響の研究
- ・ワイヤハーネスを含むEMC評価系の研究

通信QoS

- ・IEEE 802.1 TSN（Time Sensitive Networking）の評価理論構築と標準化
- ・SDN（Software Defined Networking）の車載適用検討と標準化

無線通信

- ・車載ネットワーク高信頼・低遅延化を実現するクロスレイヤ通信路符号化技術の研究
- ・車載ネットワークの低遅延・高品質伝送に寄与する5G、6G無線通信方式の開発

名工大・未来通信研究センター <http://cfcr.web.nitech.ac.jp/>

【PRポイント】

- ・経済産業省委託事業「省エネルギー等国際標準開発（国際電気標準分野）」、車載イーサネットのシステム完全性に関する国際標準化の拠点機関として活動しています。国際標準提案したい技術をお持ちの方、国際標準化のプロセスを体験したい方は活動にご参加ください。
- ・大学院特別履修コース開設（2022年度～）：通信の高信頼化研究と国際標準化のスキル・研究能を併せ持つ国際舞台で活躍できる博士（ルールメイキング人材）を育成するプログラムを開設しました。社会人博士も大歓迎します。学びなおし（リカレント）しませんか？